

# I want to play this SONG

第1回

星に願いを When You Wish Upon A Star

## ●曲の背景

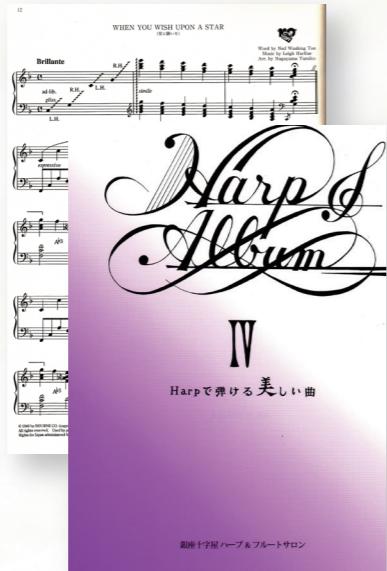
イントロが流れるとき、誰もが心が安らぎ、とてもインティメートな気分にさせてくれる。ディズニーを象徴する曲であり、どこかノスタルジックで、明日への希望が湧いてくるこの曲は、1940年にアメリカのリー・ハーラインが作曲した。彼はラジオDJをやっていた時にスカウトされ、1932-41年までウォルト・ディズニー・カンパニーに所属。後に「白雪姫」「ピノキオ」などの音楽を手掛け、アカデミー賞歌曲賞を受賞している。歌ったのは、ウクレレ・アイクことクリフ・エドワーズ。「ピノキオ」では、ジミニー・クリケットの声を担当し、ウクレレ片手に歌うボードビリアンから、一気にディズニーを代表する声優になった。なんといっても、この曲の魅力はオールシーズン、どんなハレの場であってもフィットし、知名度が高く、夢と希望のメッセージを携えているため、ハープで弾くと一目置かれるところ。さあ、弾いてみよう。

## ●演奏のポイント

今回ピックアップした楽譜は、「星に願いを／松本花奈・編」「ハープ・アルバム4」「森の詩」の3つです。ポイントは、やはり闇雲にスコアを選ぶのではなく、その楽譜のレベルを選ぶことが大切になってきます。そして、編曲のバリエーションを知り、どんな「星に願いを」を弾きたいのか、下調べも重要になってきます。インターネットの動画や既にどなたかが弾いた演奏に触れ、イメージを絞り込んでいくと良いでしょう。そしてどの曲でもそうですが、やはり音符が多い=処理数が増えるということで、当然難解にはなっていきます。特にこの曲は、跳躍のあるメロディであるため、メロディの繋がりを意識して弾くことが望まれます。3つの楽譜の違いとは、アレンジの方向性を除けば、音域の広さと右手のパート（メロディ）が単音か和音かという差があるということになります。イントロの部分だけ写真掲載したので、ぜひ参考にしてみてください。プロの講師から金言を頂きました。「ハープで曲を弾く際、一般的にクラシックはそこに美を求める。この曲のようにポップスに類する曲は、日常の感情を、ハープを通じて表現する」と。この曲の場合、星空に祈りや願いを込めて弾くことで、いかに曲本来の持つ上品さを醸し出すかが、最大の難所でもあり、最大の魅力です。

楽譜の  
お求めは、  
こちらから

▲初級:星に願いを／松本花奈・編

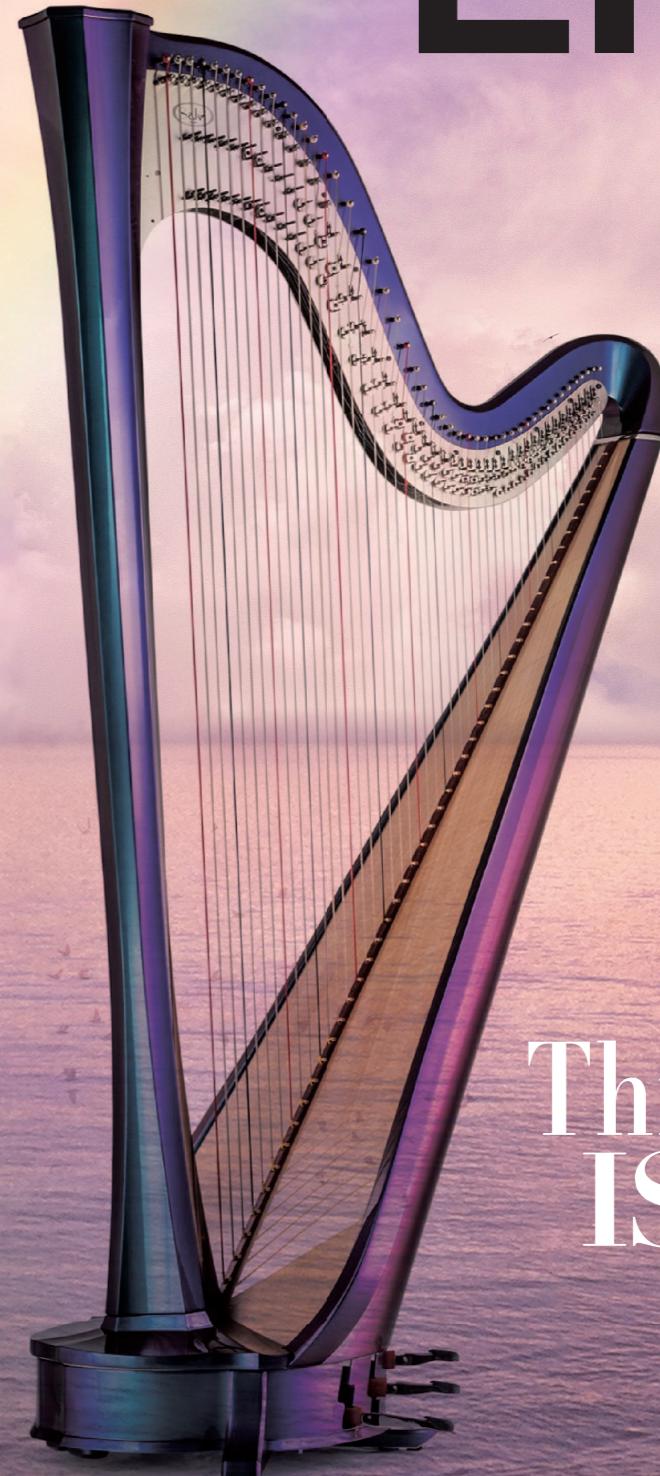


▲中級:ハープ・アルバム4



▲上級:森の詩

# HARP LIFE

10  
2020

## Thirteenth ISSUE

Vol.13

# YO SAITO

編集長インタビュー：斎藤葉

## 軌跡を訊く

8月2日のハープの日は、第2回を迎えて銀座十字屋では同社ホームページで初のオンライン開催に踏み切ったが、そこで演奏動画により特別フィーチャーされたのが、斎藤葉だった。海外からのアクセスも多かったという、いま最もエネルギーッシュなハーピストに話を聞いた。

行動によって道を拓いてきたアーティスト、それが斎藤葉である。最初に海外に出かけたのは23歳の時。友人と3人でリリー・ラスキースの南仏ニースでの夏期講習に出かけ、それも格安チケットでロンドン経由、「地球の歩き方」を手に、ドーバー海峡を渡り、観光しながら南仏に向かった。その後も行動は続く。単独でオランダ開催の第一回世界ハープ会議にも応募、初日のバス移動で見知らぬ紳士と隣になり、片言英語で話しかけ、後でその紳士がサルヴィ創立者ヴィクトール・サルヴィだったということもあったらしい。さらに20代の最後、一年だけと決めてスイス・ローザンヌへ留学し、そこで高い評価を受ける。しかもドイツの名門オケからオーディションを受けないかという誘いも断り、「天邪鬼な性格から」きつかり一年後に帰国した。

斎藤：祖国日本を思った時、自分は日本で日本人としての



▲武者修行から帰国した頃と思しき斎藤葉

アイデンティティーを持った音楽活動を小さく細々とでもしたいと悟ったのです。海外は、「己を知る」よい機会だった。

普通ならば欧米に歓迎され、その文化に評価されたら現地に留まろうとするだろう。邪推になるが、演奏に接した当時の欧州の人々は、当時から彼女に確固たる個性を見出したからこそ魅了されたに違いない。

斎藤：私たちは、99%が過去の歴史への継承と敬意の上に生きており、新しい意義のあることが形になるということは、ほんの1%くらいの中から起こる確率だと思います。時に理解に苦しむような新しい見解に遭遇することもあり、優れた新しい発案でも過去の慣例の重圧で頓挫することもある一方、過去の素敵なかな遺産に励まされることもあるのです。

彼女は現在に至るソウル・サーチの旅で、温故”斬”というテーマを見出した。無論、温故知新からの造語である。歴史を理解しつつ、同時に現在の切り口を探す。力量があるからこそアプローチなのだが、実は誰もが着手できる正攻法ともいえる。海外で日本人としての自己に目覚め、「過去の素敵なかな遺産に励まされる」ため歴史に問い合わせたとき、笙箋(くご)に出会い、その演奏にも手を染め



た。恐らくそれと同じ閃きで、もう四半世紀前になるが、米シアトルでメーカーブースに展示されていたエレクトリックハープも手にした。最近では、ジャズ理論も学んでいるという。お分かりのように、歩みだすことに何の躊躇もせず、自らの信念によって結果を出してきたのが、斎藤葉というアルチザンの真骨頂なのである。

現在のコロナ禍で、ハープを続けてゆくことに不安を覚える方もいるだろうが、彼女は「ハープは数千年の歴史に生きている楽器、それが何かはわかりませんが、力をもたらしてくれる楽器」と断言する。

斎藤：個人練習、勉強などは、強い気持ちがあれば、いまはかえって自分を高める良いチャンスだと思います。教則本をじっくり読むと、沢山の発見があります。計画を紙に書いてみることも良いでしょう。対面のレッスンや演奏、いまは

厳しいと思いますが、生でないと伝わらないこともたくさんありますので、距離を保って行うなど、工夫してはいかがでしょうか。精神的に困ったときは、不安な時は仲間がいるじゃないか、と連絡をとってみる、頼ってみる。モチベーションを高めたり、励ましあったり、笑い合う。ハープは大きくて頼り甲斐のある楽器です。けっして一人ではないんだという感覚で、気持ちが縮小しないようにいたしましょう。

自らが一步前出ることで実績を積み重ねてきた彼女の言葉だからこそ、そのメッセージは、勇気ある金言として心に響く。我々はこれからも、日本発信の世界的ハーピストとして斎藤葉を注視してゆくことになるだろう。

ハープの日を見逃した方は、  
ハープライフWEBで  
アンコール上映をチェック!



# LUNCHTIME CONCERT

## 復活! 銀座十字屋ランチタイム・コンサート

かつての名物企画「銀座十字屋ランチタイム・コンサート」が復活した。お昼時に、ハープの魅力を少しでも多くの方に味わってもらうためにと始められた同企画は、入場無料で、銀ブラにきた方や近所のOL、熱心なファンさんに支えられ、長きにわたる人気のイベントだった。それが、いまの住所にハープ＆フルートサロンが移ったことをきっかけに、惜しまれながら終止符を打った。それが、時はコロナ禍であるにも拘らず、なんとオンラインで復活を遂げたのである。

まさか、こんな形で復活するとは思わなかった。しかし、まだまだ浸透していないハープの魅力を少しでも多くの人々に…という発足当時の理念からすれば、今回の再スタートは東京・銀座という枠組みどころか、日本全国、ことによれば海外にも通じるインターネットならではの伝播力をもって、ハープの演奏を届けることができる。今まででは、銀座のど真ん中で昼時にハープの音色が聞けるということで、ライブの生音が呼び物となってファンを増やしてきたが、ウィズ・コロナの時代ともなればそれもハードルが高い。だが、ネット環境さえあれば、毎月1回ライブキャストで様々なアーティストたちの演奏を耳にできるようになった。これはファンならずとも福音だろう。連れだって銀座へ赴くのも楽しみではあったが、銀座十字屋のホームページをチェックしてみての一聲で済むわけだから、ハープ未経験者や初心者の視聴も促しやすい。

その一方で、一発勝負のライブとは別の事前準備も以前に増して入念になったと、スタッフは云う。去る7月29日に、

海外にも通じる  
インターネットならでは  
の伝播力もって、  
ハープの演奏を  
届けることができる

再スタート第一弾の出演者となった吉田みちこが、当日の状況を語ってくれた。  
「自分としてもオンラインのコンサートは初の試みで、かなり緊張するかと思っていました。しかし、思いのほか集中しやすく、むしろ弾きやすかったかと思います。スタッフとワンチームでコンサートを作り上げて感じがあり、音質やカメラチェックのために別日にリハーサルもあったので、安心感・信頼感のなかで演奏できました」

との感想だった。また、予想外の反響もたくさん寄せられたことにも驚いていた。これもヴァイラル・メディアといわれるインターネットの媒体力なのだろう。取材当日は、3回目の出演者・金谷歩実の入念なりハーサルと本番収録が行われていた(写真)。ソーシャルディスタンスがとられながらも、放送しながらの情景は、にわかにライブによるネット配信のコンサートであるという実感は湧かなかった一方で、良い演奏を多くの人に届けたいという作り手の熱意がすごく伝わってきた。これは再び、名物企画との呼び声が再燃すること、間違いないだろう。今後の出演予定として、4回目は山口弓乃の出演が発表されている。銀座十字屋ホームページをチェックする回数が今後ますます増えそうだ。



▲第1回出演:  
吉田みちこ



▲第2回出演:  
邊見美帆子



▲第3回出演:  
金谷歩実



▲第4回出演:  
山口弓乃



LUNCHTIME CONCERT

銀座十字屋  
ランチタイム・コンサート

Point of  
PERFORMANCE

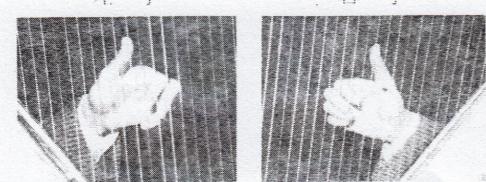
演奏のポイント

今回は左手をメインに練習しましょう。はじめの課題で基本の動きを確認したら、「アルベルティバス」(ドミン音型)の練習です。まず和音(ドミンなら、ドミノ)で手の形を先に覚えて。次に強拍と弱拍を感じながら、ゆっくり練習しましょう。手や指の重心コントロールが肝心です。最後の〈楽しいくらし〉は、フレーズが自然に聴こえるよう、使いを工夫しましょう。

第1指・第2指・第3指による 音階の基礎練習



低音部譜表により、左手で練習しますが、低音部譜表を確実に読みとるようにしましょう。左手がひけるようになったら右手を、右手もひけるようになったら両手で練習します。右手はオクターブ上をひきます。(以下同じ)



1指・2指のおき方と形は今までと同じで、それに3指(中指)を軽くそえます。ひいたあとの指は弦上に戻さず、手のひらの中へ入れていきます。



指のおき方

み ふ あ そ

〈8〉 (みー) (ふー) (そー) やすんで (ふあそら) 一度におく (ふー)  
 (そー) (らー) やすんで (そらし) 一度におく

1ト2ト3ト4ト 1ト2ト3ト4ト

〈9〉 3指(み)ひいて 2指(ふあ)ひいて 3指(ふあ)において 1指(そ)  
 ひいて 2指・1指(そら)において 3指(ふあ)ひいて 2指(そ)ひいて 3指(そ)  
 において 1指(ら)ひいて

1ト2ト3ト 1ト2ト3ト 1ト2ト3ト

〈10〉

1ト2ト3ト 1ト2ト3ト

〈11〉 は〈9〉と同じ要領で。3指をひく前に1指をおき、1指をひく前に2・3指をおく。

1ト2ト3ト 1ト2ト3ト

〈12〉

1ト2ト 1ト2ト

応用練習

〈こぎつね…ドイツ民謡〉

応用練習

〈かすみか雲か……ドイツ民謡〉

応用練習

〈楽しいくらし……ドイツ民謡〉

この曲は自分で一番よいと思う運指をみつけてみること。

# Harp Life CD Collection

## ハープライフ選定 ハープ銘盤コレクション

時を超えて、いつまでも残しておきたい、  
ハープの銘盤CDをご紹介してゆく  
コーナーです。



### Harp Life GOLD DISC

第3回

## 「華麗なるハープの世界／ジュディ・ローマン」

歴史の長いハープだが、実は近代にその表現能力が急速に拡大した楽器であるともいえる。その背景には、本作の構成要素がそうであるように、フランス近代でハープをメインに据えた楽曲が輩出され、ピアノとの差を縮めた表現を実現させたことが大きい。ハープは演奏人口がまだ多いとはいえないが、考えてみればフランス近代の躍進が多くの共鳴を呼んでからブーストがかかったわけだから、クラシック界の表舞台に立つのも、むしろこれからなのかもしれない。

本作でジュディ・ローマンは、自らの憧れの全てを注ぎ込んだといえる。ローマンは、フランスのハープ楽曲に憧れて、当時はまだ斬新であったスタイルに早くから身を投じた最初の世代に当たる。師匠はあのサルツェードである。本作でも、師匠直伝の「狂詩曲」を献辞している。ローマンは、パリパリのアメリカ人で夫がカナダ人だったため、後半生をカナダに移住して今日に至るが、ニースの音楽院に学んでから時流になりつつあるフランス・ハープの流儀に染まった。英語圏の彼女は現地ではいわば異邦人であり、自らの半生をかけて熟成させたフランス楽曲集という趣が本

作の主眼であるのだろう。

アッセルマンの「泉」に顕著だが、繊細な分散和音が「これぞ、ハープ!」といった名調子を響かせている。実は練習曲として作られたといわれる同曲は、一見かなりの難曲に見えるが、比較的早い段階で習得する曲になっている。それだけ近代ハープのエッセンスが凝縮しているからだろう。そして、ローマンがアメリカ人であるからこそ、外国人から見た過度に入り込まない冷静さとツボを押された表現が、オーバーワークを抑制している。邦題が賑々しい「華麗なるハープの世界」となっているが、ある意味的を射た言い回しで、生き証人としてフランスからの風を全身で受け止めてきた本物のみが紡ぎだせる、余裕と美意識を感じさせる作品集なのである。

お買い  
求めは、  
こちらから!



# 季節の おすすめハープ Vol.13

季節ごとに、毎号1台ずつ  
銀座十字屋がおすすめする、  
素敵なサルヴィハープ。  
今回は「JUNO27」です。



豊かな音色表現が可能。  
キラキラとした  
綺麗な音色は

# Juno27

大は小を兼ねるといいますが、小ならではの持ち味とか、小さくても大を兼ねてしまう例もあるでしょう。サルヴィハープの技術を小さなボディに詰め込んだJunoシリーズがまさに、小さくても必要十分以上の魅力を発揮するレバーハープなのです。

このハープ、実は日本のユーザーに向け、持ち運びが簡単で床置きにも対応出来る特別なコンセプトで完成しました。現状のハープの中では、持ち運びができる楽器の中で届指の大きな響板を持っているため、豊かな響きを楽しめます。コンパクトにした分、音域が損なわれ、音がカリカリとしたソリッドな音がするようでは、独奏では問題ないかもしれません、合奏などでは確実に音が埋もれてしまいます。JUNO27は、通常の同シリーズが25弦仕様のところ、さらに2弦多い27弦の構成で、音域もあり、ハープをミニマルに仕上げる上でギリギリの沸点を見極め、これ以上足し引きできないところまでデザインを突き詰めています。この27弦クラスは、別メーカーたちがそのバランスの難しさゆえに製造から軒並み撤退しているため、本機は市場に競合がないのも事実なのです。無駄のない弦の数と音域により、演奏がしやすい。特に高音の弾き心地が、サルヴィのグランドハープのそれに近い。それ故に、サルヴィ弾きのプロの皆さん方が付帯的にお持ちの例も多いです。キラキラとした綺麗な音色は、金属音のようにキンキン響くことはなく、豊かな演奏表現が可能です。ただし、ラップハープ同様に膝上で弾けるかといえば、可能ではあるものの、小型レバーハープという分野では大きい部類に入るため、付属してくる脚をつけて演奏するのがベターです。ボディにはバーチ材を使用。巷間、耐久性を問う声もありますが、バーチ材自体が傷・水・摩擦に強く、反りなどの狂いが少ないといわれています。本機は、カラーバリエーションも豊富。ハープ演奏をより身近に、より楽しいものに。JUNO27は、その願いを叶えるハープなのです。

実際の  
音色を  
チェックしよう

